

- 平成30年6月の土砂災害防止月間中、全国約930市町村において、約62万人が土砂災害に係る避難訓練（実働）、情報伝達訓練を実施
 - 「土砂災害・全国防災訓練」の統一訓練日である6月3日には、約260市町村において、約18万人が訓練を実施。このうち、約110市町村において約4.9万人が避難訓練等（実働）を実施
- 【主な避難訓練の内容】
- 要配慮者、要配慮者利用施設の管理者、避難行動要支援者等による避難訓練 等

6月3日避難訓練(実働)の参加者が多かった市町村
 大分県日田市:8,342人
 広島県尾道市:5,540人

要配慮者利用施設等の避難訓練①



みたねちょう
 秋田県三種町 避難行動要支援者 避難状況

土砂災害に関する学習会



ちょう
 福井県おおい町 講師:県土木事務所職員

その他の訓練事例

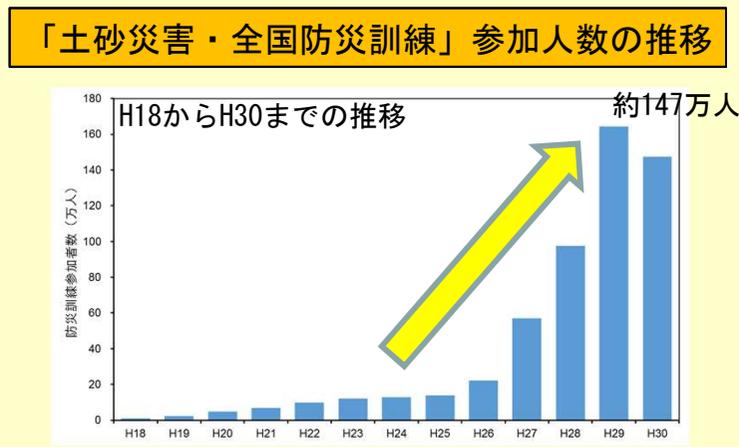


避難所生活体験:北海道室蘭市(泊まりこみ)
 炊き出し:新潟県佐渡市、沖縄県うるま市 ほか
 ドローン調査:福井県おおい町(町所有) など

要配慮者利用施設等の避難訓練②



かなみちょう
 静岡県函南町 避難行動要支援者 避難状況



避難の声かけ 安全の確認

次回(令和元年)は、
 「避難の声かけ、安全の確認」
 をキャッチフレーズとして訓練実施!